

第53期

決算公告

岡三アセットマネジメント株式会社

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|----------|------------|--------------|------------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 流動資産 | 14,239,128 | 流動負債 | 1,134,972 |
| 現金預金 | 12,889,303 | 預り金 | 7,928 |
| 有価証券 | 94,613 | 未払金 | 787,831 |
| 貯蔵品 | 4,051 | 未払収益分配金 | 13 |
| 前払費用 | 45,683 | 未払償還金 | 8,124 |
| 未収入金 | 56,411 | 未払手数料 | 532,071 |
| 立替金 | 1,590 | その他未払金 | 247,622 |
| 未収委託者報酬 | 1,073,372 | 未払費用 | 192,452 |
| 未収運用受託報酬 | 18,838 | 未払法人税等 | 133,340 |
| 未収投資助言報酬 | 11,660 | 賞与引当金 | 13,420 |
| 未収収益 | 38,483 | 固定負債 | 523,338 |
| 繰延税金資産 | 5,119 | 退職給付引当金 | 257,350 |
| 固定資産 | 4,160,598 | 役員退職慰労引当金 | 41,120 |
| 有形固定資産 | 315,290 | 繰延税金負債 | 107,927 |
| 建物 | 252,684 | 資産除去債務 | 87,840 |
| 器具備品 | 62,605 | 長期未払金 | 29,100 |
| 無形固定資産 | 12,680 | 負債合計 | 1,658,311 |
| ソフトウェア | 10,557 | 純 資 産 の 部 | |
| 電話加入権 | 2,122 | 科 目 | 金 額 |
| 投資その他の資産 | 3,832,628 | 株主資本 | 16,270,455 |
| 投資有価証券 | 2,623,947 | 資本金 | 1,000,000 |
| 関係会社株式 | 915,292 | 資本剰余金 | 566,500 |
| 差入保証金 | 231,697 | 資本準備金 | 566,500 |
| 前払年金費用 | 49,496 | 利益剰余金 | 14,703,955 |
| その他投資 | 26,705 | 利益準備金 | 179,830 |
| 貸倒引当金 | △14,510 | その他利益剰余金 | 14,524,125 |
| | | 別途積立金 | 5,718,662 |
| | | 繰越利益剰余金 | 8,805,462 |
| | | 評価・換算差額等 | 470,961 |
| | | その他有価証券評価差額金 | 470,961 |
| | | 純資産合計 | 16,741,416 |
| 資産合計 | 18,399,727 | 負債・純資産合計 | 18,399,727 |

(記載金額は千円未満を切捨てております。)

損益計算書

〔平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで〕

(単位：千円)

| 科 目 | 金 | 額 |
|--------------------|------------|-------------------|
| 営業収益 | | 12,672,177 |
| 委託者報酬 | 12,602,269 | |
| 運用受託報酬 | 39,629 | |
| 投資助言報酬 | 30,278 | |
| 営業費用及び一般管理費 | | 11,300,942 |
| 支払手数料 | 6,581,071 | |
| その他営業費用 | 2,261,766 | |
| 一般管理費 | 2,458,103 | |
| 営業利益 | | 1,371,235 |
| 営業外収益 | | 77,469 |
| 受取配当金 | 52,776 | |
| 受取利息 | 694 | |
| 雑益 | 23,998 | |
| 営業外費用 | | 127 |
| 経常利益 | | 1,448,577 |
| 特別利益 | | 527,140 |
| 投資有価証券売却益 | 1,335 | |
| 投資有価証券償還益 | 1,810 | |
| 関係会社株式売却益 | 133,994 | |
| 受取補償金 | 390,000 | |
| 特別損失 | | 213,173 |
| 有価証券償還損 | 19 | |
| 投資有価証券売却損 | 118,400 | |
| 投資有価証券償還損 | 72 | |
| 投資有価証券評価損 | 322 | |
| 移転関連費用 | 94,360 | |
| 税引前当期純利益 | | 1,762,543 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 493,560 | |
| 法人税等調整額 | 15,732 | 509,293 |
| 当期純利益 | | 1,253,250 |

(記載金額は千円未満を切捨てております。)

株主資本等変動計算書

〔 平成 28 年 4 月 1 日から
平成 29 年 3 月 31 日まで 〕

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | | | | 評価・換算差額等 | | 純資産 合計 |
|------------------------------|-----------|---------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|------------|------------------|----------------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | | | 株主資本 合計 | その他有価証券 評価差額金 | 評価・換算差額 等合計 | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金 合計 | 利益準備 金 | その他利益剰余金 | | 利益剰余金 合計 | | | | |
| | | | | 別途 積立金 | 繰越利益 剰余金 | | | | | | |
| 当期首残高 | 1,000,000 | 566,500 | 566,500 | 179,830 | 5,718,662 | 7,593,462 | 13,491,954 | 15,058,454 | 401,188 | 401,188 | 15,459,642 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △41,250 | △41,250 | △41,250 | | | △41,250 |
| 当期純利益 | | | | | | 1,253,250 | 1,253,250 | 1,253,250 | | | 1,253,250 |
| 株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額 (純額) | | | | | | | | | 69,773 | 69,773 | 69,773 |
| 当期変動額合計 | | | | | | 1,212,000 | 1,212,000 | 1,212,000 | 69,773 | 69,773 | 1,281,773 |
| 当期末残高 | 1,000,000 | 566,500 | 566,500 | 179,830 | 5,718,662 | 8,805,462 | 14,703,955 | 16,270,455 | 470,961 | 470,961 | 16,741,416 |

個別注記表

当社の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書は、「会社計算規則」（平成 18 年法務省令第 13 号）の規定のほか、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成 19 年総理府令第 52 号）により作成しております。

なお、記載金額は、千円未満の端数を切捨てております。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) その他有価証券

- ① 時価のあるもの … 決算日の市場価格等に基づく時価法を適用
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法により算定)
- ② 時価のないもの … 総平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

定率法により償却しております。ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 … 8 ～ 18 年

器具備品 … 4 ～ 15 年

(2) 無形固定資産

定額法により償却しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5 年）に基づき償却しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、当社所定の計算方法による支給見込額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定年数（5年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

(4) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社規程に基づく期末要支給見積額を計上しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

2. 会計方針の変更

(平成 28 年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成 28 年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第 32 号 平成 28 年 6 月 17 日）を当事業年度に適用し、平成 28 年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第 26 号 平成 28 年 3 月 28 日）を当事業年度から適用しております。

4. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産から控除した減価償却累計額は、69,348 千円 であります。

(2) 親会社株式

固定資産（関係会社株式） 915,292 千円

5. 損益計算書に関する注記

(1) 関係会社との取引高（営業取引以外の取引）

受取配当金 40,590 千円

6. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び総数

普通株式 825,000 株

(2) 配当に関する事項

① 配当金支払額

平成 28 年 6 月 27 日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

| | |
|-----------|------------------|
| 配当金の総額 | 41,250 千円 |
| 1 株当たり配当額 | 50 円 |
| 基準日 | 平成 28 年 3 月 31 日 |
| 効力発生日 | 平成 28 年 6 月 28 日 |

② 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの
平成29年6月22日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

| | |
|-----------|------------------|
| 配当金の総額 | 41,250 千円 |
| 1 株当たり配当額 | 50 円 |
| 基準日 | 平成 29 年 3 月 31 日 |
| 効力発生日 | 平成 29 年 6 月 23 日 |

なお、配当原資については利益剰余金とすることを予定しております。

7. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

| | |
|--------------|-----------|
| 退職給付引当金 | 78,800千円 |
| 役員退職慰労引当金 | 12,590千円 |
| 賞与引当金 | 4,141千円 |
| ゴルフ会員権評価損 | 1,838千円 |
| 貸倒引当金 | 4,442千円 |
| その他有価証券評価差額金 | 33,809千円 |
| 有価証券評価損 | 7,279千円 |
| 投資有価証券評価損 | 2,817千円 |
| 未払広告宣伝費 | 663千円 |
| 資産除去債務 | 26,896千円 |
| 未払事業税 | 4,792千円 |
| 未払不動産賃借料 | 11,904千円 |
| その他 | 2,757千円 |
| 繰延税金資産の合計 | 192,734千円 |

繰延税金負債

| | |
|-----------------|-------------|
| その他有価証券評価差額金 | 241,721千円 |
| 未収配当金 | 11,836千円 |
| 資産除去債務に対応する除去費用 | 26,828千円 |
| 前払年金費用 | 15,155千円 |
| 繰延税金負債の合計 | 295,542千円 |
| 繰延税金資産（負債）の純額 | △ 102,807千円 |

8. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は短期預金、未収委託者報酬、投資有価証券等の金融資産を有しております。一方、未払金（未払手数料）等の金融負債を有しております。なお、デリバティブ取引は行っておりません。

これらの金融資産に関わるマーケットリスク、取引先リスク、流動性リスク、並びに金利変動リスク等を管理するため、社内規程等に従い、ポジション枠や与信枠等の適切な管理に努めております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成29年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含めておりません。

(単位：千円)

| | 貸借対照表計上額 | 時価 | 差額 |
|------------------|------------|------------|---------|
| (1) 現金預金 | 12,889,303 | 12,889,303 | — |
| (2) 有価証券 | 94,613 | 94,613 | — |
| (3) 未収委託者報酬 | 1,073,372 | 1,073,372 | — |
| (4) 投資有価証券 | 2,042,947 | 2,042,947 | — |
| (5) 関係会社株式 | 915,292 | 915,292 | — |
| (6) 差入保証金 | 231,697 | 230,568 | △ 1,128 |
| (7) 未払金 (未払手数料) | 532,071 | 532,071 | — |
| (8) 未払金 (その他未払金) | 247,622 | 247,622 | — |

(注1) 金融商品の時価の算定方法

(1) 現金預金 (3) 未収委託者報酬 (7) 未払金 (未払手数料) (8) 未払金 (その他未払金)

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券 (4) 投資有価証券 (5) 関係会社株式

これらの時価について、上場株式は取引所の価格、債券は取引所の価格又は日本証券業協会が公表する価格等、投資信託は公表されている基準価額等によっております。

(6) 差入保証金

合理的に見積りした差入保証金の返還予定時期に基づき、リスク・フリーレートで割引率を算出し割引計算をしております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

非上場株式 (581,000 千円) は市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

9. 関連当事者との取引に関する注記

| 属性 | 会社等の名称 | 住所 | 資本金 (千円) | 事業の内容 又は職業 | 議決権 等の所有 (被所有) 割合 | 関係内容 | | 取引の内容 | 取引金額 (千円) | 科目 | 期末残高 (千円) |
|---------|----------|------------|-------------|---------------|----------------------------|------------|-----------------|----------------------|-------------------|-----------|-----------------|
| | | | | | | 役員の 兼任等 | 事業上の 関係 | | | | |
| 親会社の子会社 | 岡三証券株式会社 | 東京都 中央区 | 5,000,000 | 証券業 | (直接 2.30%) | — | 当社ファンド の募集取扱 | 支払手数料 の支払 (注1) | 2,814,695 (注2) | 未払手 数料 | 197,827 (注2) |

- (注) 1. 取引条件及び取引条件の決定方針
過去の取引条件及びファンドの商品性を勘案して決定しております。
2. 取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

10. 1株当たり情報に関する注記

| | |
|--------------|------------|
| 1株当たり純資産額 | 20,292円62銭 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 1,519円09銭 |